

5市1町の合併についての調査研究概要

埼玉県東南部地域に位置する5市1町(草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町)では、平成3年に、「埼玉県東南部都市連絡調整会議」を設立し、当地域における調和のとれた発展を目指し、調査研究に取り組む、その一つとして、「政策研究専門部会」を組織し、平成13年度から合併について調査研究を進めてきました。

これまで「広域行政と合併のメリット・デメリット」「合併による財政の変化」「合併による市民サービス水準の変化」「5市1町の合併による政令市への移行を視野に入れた都市の潜在的な力(ポテンシャル)の分析」「新市の土地利用戦略」等の調査研究を行い、今回、最終報告書がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。

(1) 新市の将来都市像

私たちが創る

持続的発展が可能な スマートライフ都市

埼玉県東南部地域を構成する5市1町は、80万人を超える人々が暮らす住宅都市として、これまでさまざまな発展を遂げてきました。また、首都圏近郊にありながら比較的豊かな自然環境に恵まれています。さらに、越谷レイクタウンをはじめ、首都圏有数の大規模な市街地整備が計画されており、より一層の発展が期待されます。

ここで、5市1町が今後一体となり、政令指定都市として新たなまちづくりを進めるためには、都市としての持続的発展という考え方が重要となります。東南部地域では新たな発展方向を目指すにあたり、都市力及び経済力の強化とともに、環境との共生を積極的に進めていく姿勢が求められます。

また、快適性と利便性の両立が可能な、豊かなライフスタイルの実現が期待されます。そして、新市の「市民力」を活かし、市民が主体と

なった産業の育成や、地域自治の実現を図っていくことが求められることから、今後の東南部地域は、21世紀にふさわしいスマートライフ(かしくゆとりのある暮らし)を実現できるようにまちづくりを進めていきます。

(2) 将来都市像を実現するための4つの基本戦略

① 快適なライフスタイルを実現できるまちづくり

これまで東南部地域の発展を支えてきた「人」に改めて焦点を当てることにより、生活都市としての魅力を高めていきます。市民がより多くの余暇時間を地域内で過ごし、市民同士のふれあいを高めることにより、生活の質の向上を図っていくことを目指します。

② 多様な産業活動が息づく職住近接のまちづくり

既存の商業、工業、流通業等についてさらなる集積及び高度化を図るとともに、地域に暮らす「人」をターゲットとしたサービス産業、市民力を生かした高付加価値のものづくりに産業を中心に、育成を図ります。

農業、工業、商業それぞれの部門に

おいて、市民の快適なライフスタイルと密接に関連する、多様な産業の発展を目指します。

③ 交通基盤や都市機能が充実したまちづくり

合併を契機に、より広域的な観点に基づいて都市計画や道路整備を推進します。また、現在の市町境を越える大規模な市街地整備計画については、効果的な推進を図ります。さらに、政令市としての事務権限を最大限に活用し、現在立ち遅れている都市基盤や交通ネットワークの整備を効率的に進めていきます。

④ 豊かな水と緑に囲まれたまちづくり

水と緑は東南部地域に共通する資源であり、地域としての顔づくりに欠かせない要素です。水と緑の良さを見直し、まちづくりに積極的に取り入れていきます。

新市全体で水と緑のネットワークを形成し、市民による豊かなライフスタイルの実現を目指します。さらに、道路等のネットワークの整備にあわせて橋りょうを整備し、地域の分断の解消を図ります。

(3) 新市の土地利用戦略
《拠点整備の推進》

圏域内に位置する7つの地区について、それぞれの地域特性、現在予定されている整備計画、圏域全体における地区の位置づけなどを踏まえて、新市における特色ある拠点として整備を進めます。

① 越谷レイクタウン地区(越谷駅・南越谷駅周辺地区(都市核、広域商業核、業務核))

新市におけるセンターコア機能の確立を目指して、長期的な観点に基づいて高次都市機能や行政中枢機能を整備

② 武蔵野操車跡地周辺(吉川駅南地区(地域核、文化・教育核))

複合多機能型の市街地の整備を進め、JＲ武蔵野線吉川新駅(仮称)の周辺を中心に、アミューズメント性を備えた生活利便施設や交通基盤などを整備

③ 草加・松原地区(地域核、文化・教育核)

新たな賑わいの創出を図るとともに

に、歴史・文化・伝統産業・都市機能が融合した、スローライフ文化の発信拠点、快適なシティーライフを提供する文教・都市生活ゾーンとして整備

④ 八潮駅周辺地区(地域核)

首都圏方面からの玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを展開し、新市における新たな交流の拠点として位置づけ、筑波研究学園都市との連携や「ものづくり」産業の集積により、産学官連携の拠点として整備

⑤ 三郷インターチェンジ周辺地区(流通核、広域商業核)

三郷中央駅周辺との連携によって職住近接の実現を図り、多様な業種やライフスタイルが存在する、複合的な産業のシンボル拠点として整備

⑥ 越谷北部地区(文化・教育核)

埼玉県立大学・文教大学との連携・交流を促進し、それぞれの学校の特色を生かした多様な学習機会と交流の場を提供し、文化・教育の担い

手を育む拠点として整備

⑦ 松伏駅周辺地区(地域核)

将来的な交通利便性の向上を視野に入れて、松伏駅周辺等の整備を推進し、新市における新たな交流の拠点として位置づける

《拠点間を結ぶネットワークの整備》

圏域内外を結ぶ公共交通、東西南北の幹線道路を整備することにより、新市へのアクセスの向上を図るとともに、通過交通による慢性的な渋滞の解消に努めます。また、環状道路や補助交通機関を併せて整備し、圏域内の交通利便性を高めます。特に、河川については、橋りょうの整備を推進し、圏域内の交通分断の解消に努めます。

■公共交通の整備
・つくばエクスプレスの整備
・高速鉄道東京8号線の整備
・新都市交通システムの整備
・東西方向の幹線道路の整備
・草加三郷線、越谷吉川線等の整備

■圏域内の道路ネットワークの強化
・環状道路の整備(新市環状1号線・2号線)
・圏域内バス路線網の整備
■河川による交通分断の解消
・主要道路における橋りょうの整備
・現行市町境界における橋りょうの重点的整備

以上が報告書にある将来都市像等の検討内容の一部です。
なお、報告書につきましては、市役所でご覧いただけます。また東南部都市連絡調整会議のホームページに報告書を掲載する予定です。

園生涯学習まちづくり推進課
☎(内)328・497

拠点・ネットワーク構想図

